

第42回全国高等学校総合文化祭（2018信州総文祭） 囲碁部門団体戦 東京都代表チーム優勝

8月7日（火）、8日（水）、第42回全国高等学校総合文化祭（2018信州総文祭）・囲碁部門が、長野県大町市黒部観光ホテルで行われました。団体戦は、男女混成3名1チームの各都道府県代表が48チーム集まり、熱戦を繰り広げました。本校の有野直紀さんは、東京都代表チーム（以下、各チームは都府県のみ表記）の副将として出場しました。

初日、東京は、三重・兵庫・神奈川・長野と対戦し、全勝で埼玉・福井などと並びトップに立ちました。二日目の第5回戦では実質的な決勝戦と思われた埼玉との対戦に敗れ、一時優勝が危ぶまれましたが、最終の6回戦、埼玉が兵庫に敗れ、東京が京都に勝ち、東京・兵庫・埼玉・神奈川・福井・愛知6チームが、5勝1敗で並ぶという激戦となりました。しかし、東京が総勝ち数（チーム全員の勝ち数）で一位となり見事優勝しました。閉会式では優勝チームに文部科学大臣杯他が授与されました。

本校囲碁部は、過去、全国高等学校総合文化祭の団体戦で2回優勝、個人戦で優勝者を3名輩出するなど実績があります。有野さんは、本校の歴史に名を残した1人として、今後もさらに部活動に励んでほしいと思います。

（囲碁部顧問 主幹教諭 滝口 則次）



表彰式の様子



表彰式を終えた有野直紀さん

この度、全国総文祭囲碁部門で優勝したことを実にうれしく思っております。そして3勝3敗である自分を優勝に導いてくれた主将・三将の二人には感謝してもきれません。

私にとって高校最後の大会であったこの3日間は忘れることのできないものとなりました。最後に大会関係者の皆様、対局した方々、顧問の滝口先生、メンバーの二人、本当にありがとうございました。

（普通科3部・4年 有野 直紀）

本校は、昼夜間定時制の単位制・無学年制の高等学校です。生徒は「自分だけの時間割」を作り、柔軟に部活動を行います。文化部・運動部ともに技術力の向上だけでなく、生徒同士や教員とのコミュニケーションも大切にして活動しています。今回の全国高等学校総合文化祭での活躍は、本校の生徒や教職員にとっても大きな励みになりました。

（副校長 藤田 豊）